

CAE 解析ソフト「ANSYS」による最適化

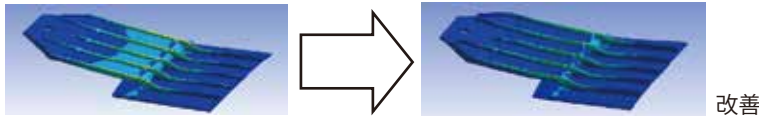
## 特長

- 設計部署が隣接している為、解析を行うだけでなく最適化検討まで行える。
- 量産品を考慮した設計に解析を活用する事で、解析回数の削減が可能。
- 構造解析単独の解析だけでなく熱を考慮した連成解析が出来ることにより実使用環境により近い連成解析が出来る。

## 構造解析

### 静解析

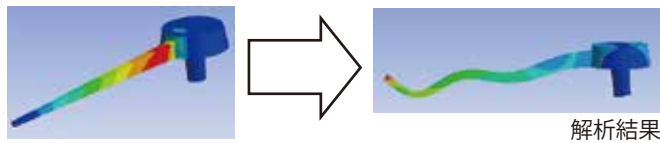
指定された荷重、拘束条件でのモデルの変形、応力、歪みを解析



- ・線形
- ・材料非線形
- ・幾何学的非線形
- ・要素非線形

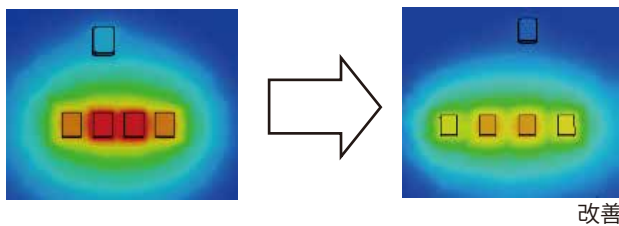
### 動解析

機械部品の振動のように時間の経過に伴って構造物の状態が変化するものを対象とした解析



- ・モーダル解析
- ・周波数応答解析
- ・時刻歴応答解析（線形）
- ・時刻歴応答解析（非線形）
- ・スペクトル応答解析
- ・ランダム応答解析
- ・モード合成法

## 伝熱解析 — 発熱、伝熱状態の解析



- ・定常伝熱解析（線形・非線形）
- ・非定常伝熱解析（線形・非線形）
- ・相転移
- ・輻射
- ・定常電流解析



## ANSYS Mechanical (ANSYS Inc.)

有限要素法を用いた解析ソフト

- 静解析、動解析、伝熱解析などの解析が可能
- これらを組み合わせた連成問題を解く事が出来る
- 世界トップクラスの CAE として、世界中の企業や研究機関、大学等で導入されている

